

小規模多機能ホーム 福ちゃんの家

平成 28 年度第 4 回運営推進会議

開催日時 平成 28 年 11 月 12 日 (土) 14:00~15:20

開催場所 福ちゃんの家 2階コミュニティルーム

出席者

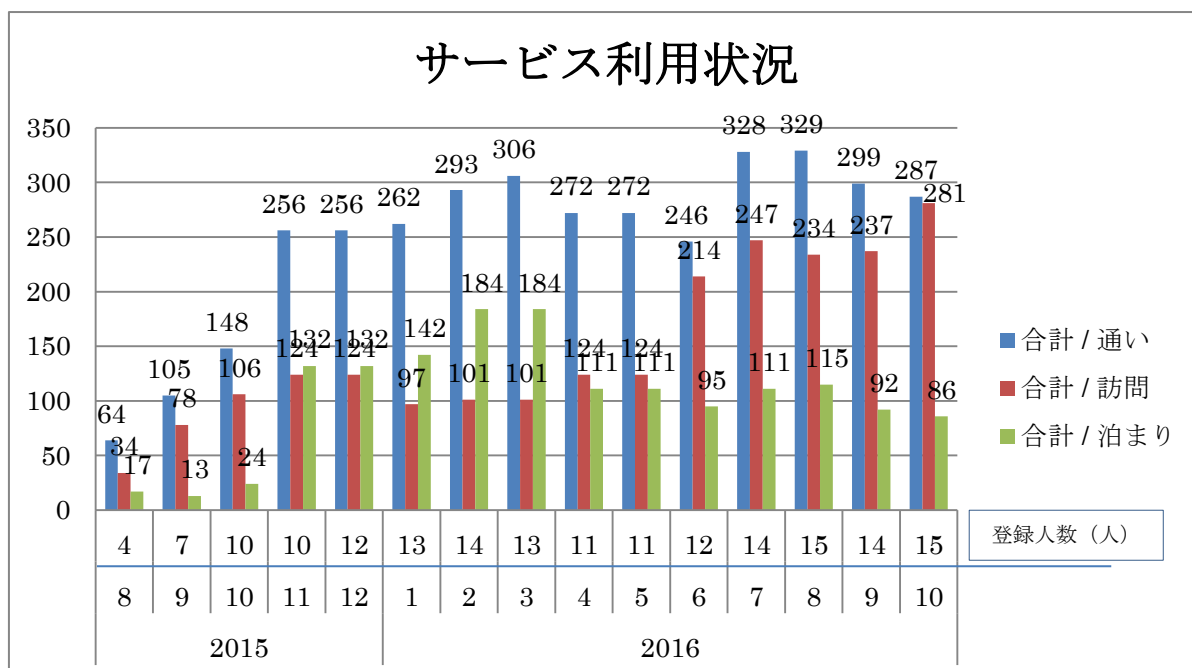
	氏名
下荒井町内会長	堀江 達郎 様
民生委員	渡邊 牧子 様
七郷地域包括支援センター所長	矢野 直美 様
すず薬局六丁の目店 薬剤師	柳 利樹 様
すず薬局六丁の目店	山内 貴裕 様
堀田 修クリニック 事務長	大山 道雄 様
福ちゃんの家 代表	福井 大輔
福ちゃんの家 管理者	曾根 充啓
福ちゃんの家 ケアマネジャー	叶内 亜紀

1. 事業所の登録状況 (平成 28 年 11 月 12 日現在)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性	3	0	3	1	0	0	0
女性	0	1	3	3	3	1	0
合計	3	1	6	4	3	1	0

登録者数 19 名 平均介護度 1.93 ※1 名認定中



2. 事業所の事故報告（2016年9月10日～2016年11月11日まで）

ご利用者様へのサービス提供中に起きた事故について報告します。

事故項目	件数（件）	詳細
転倒・転落	1	泊まりの利用者に朝方トイレ介助に入った際、トイレ外で介助待機していたが、自分で立ち上がり転倒。すぐに主治医に報告し、脳神経外科を受診、特に異常なし。
誤飲・誤嚥	0	
切傷等	0	
その他	0	
車輻	0	

事故対応策

事業所での転倒はほぼ無かった方だが、寝起き時は、ふらつき等起こる可能性は高まる故、より慎重を期すべきであり、職員の見守り及び声掛けを徹底する。

3. 活動報告

ご希望等伺いながら、個別に外出を積極的におこなっております。以下は事業所としての取り組みになります。

9月14日 松島センチュリーホテルでの敬老会を実施。昼食後に温泉に入るなどして過ごし、お祝いさせていただきました。

9月24日 七郷地区防災訓練に、スタッフ2名、利用者さん3名にて参加。

11月1日 カール英会話ほいくえん荒井の園児の皆さんが、ハロウィンイベントで来所される。

11月4日、8日、9日、10日

利用者さんのスケジュールに合わせて、定義山への紅葉狩りを実施。

また新たな取り組みを開始。利用者さんの役割を作り、コミュニケーションを増やすことを目的として昼食の配膳におひつを導入し、出来る利用者さんにご飯を取り分けていただくこととした。

4. 事例報告

Yさん（女性・要介護4）

病院からの退院後から、利用開始。ご自宅を建築中で、12月半ばまでの泊まり利用中。認知症は無い。立ち上がり時に膝が抜けてしまうことが多く、ご家族も夜間介護に不安有り。病院からは立ち上がりやポータブルトイレ等への移乗は不可との申し送りあり。事業所では出来ることをどんどんやっていただき、小さな成功体験を増やすことを意識して取り組む。ご自分もまだまだ出来ることがたくさんあると、自信回復。すぐにおむつは不要になり、立ち上がりの練習も取り組んでいる。夜間も自宅を想定し、立ち上が

りに必要な福祉用具とポータブルトイレを使い、練習中。非常に良い方向へと向かっている。

〇さん（女性・介護認定中）

荒井南市営住宅に住んでおり、左手首を骨折し、入院。七郷地域包括支援センターから紹介で10月30日退院時より利用開始。2人暮らしをしているものの、老老介護状態で、自宅環境は良くない状況。認知症は進行している。ご家族での通院介助が出来ず、術後の抜糸等の通院介助も対応中。泊まり利用していたが、11月11日に帰宅。今後月曜から金曜日まで通い利用、適宜訪問もさせていただけるよう相談中。区役所、七郷地域包括支援センターとともに情報共有しながら、サポート予定。

5. 代表より報告

利用者登録者数は、10月末から4名新規登録していただきました。一気に増えたこともあり、職員には一つ一つ丁寧に行い、職員同士でも声掛けして、けが等起きないように努めるよう周知徹底しています。10月は登録15名で、訪問サービスは281回（うち要介護者267回）を数え、細かく必要なサービスを提供することを心がけております。宿泊は極力減らし、在宅生活を継続するための支援をする方針であり、ようやく小規模多機能型サービスらしさが生まれてきたように感じております。職員の負担は大きくなるものの、スケジュール調整含め、協力して実施しています。

新規相談は現在2名いただいております、ご本人への説明を進めている状況と伺っております。登録者増加に伴い、パート職員1名増えましたが、常勤職員1名採用したいと考えております。またリハビリ専門職の採用も同時に行っており、在宅復帰をより後押しできる体制を整えたいと考えております。

6. 委員の皆さまより

堀江町内会長

荒井南地区は、12月に町内会が発足予定となっています。町内会発足後、復興住宅等震災後に移り住んできた方たちの状況把握が進むことを期待しています。民生委員を1名配置予定。また若林区として民生委員を36名公募していたが、充足せず、担い手不足は否めない状況だが、下荒井・四谷・荒井広瀬担当として、1名増員が決まっています。

先日の地区の防災訓練や盆踊り大会等、積極的にいつも参加いただき、感謝しています。引き続き参加の程、よろしくお願ひします。11月27日は、町内会の防災訓練を下荒井公会堂にて予定しています。

渡邊民生委員

町内会長のお話にもありましたが、この下荒井地区で民生委員を1名増員予定。ただ七郷地区全体としては、4名ほど足りていない状況です。

11月15日は老人クラブの定期集会にて荒井交番の所長や地域包括支援センターの方々をお招きし、振り込め詐欺等の被害防止のための講和や認知症のお話などをしていただき予定であり、参加可能であればぜひ参加ください。

すず薬局六丁の目店 山内様

先日、七郷老壮大学にて、お薬の話をさせていただきました。関心度も高く、68名ほどの方々にお集まりいただきました。今後も薬の話などご要望あれば、講座行いますので、お声がけください。

七郷地域包括支援センター 矢野所長様

11月10日の七郷地域ケア会議への出席ありがとうございました。会議の中でも申し上げた通り、中荒井地区の相談件数が増加しています。地域全体として、同居が多かったものの、復興住宅や六丁の目北町の県営住宅等で独居や高齢化が進んでおり、今後も相談が増えてくることが予想されます。各地区でのミニケア会議のようなものを開催しながら、地域住民の皆様にも高齢者が増えてきていることやその対応等の意識を持っていただき、地域全体としてのケアシステム構築を目指したいと思っています。